

デザインコンセプト

【西口駅前デザインコンセプト】

- 横浜らしさを感じさせる、水、緑、光、ハマ風などを意識した景観形成
- 横浜駅西口の顔として、人にやさしく街の象徴となる景観形成
- まちの活力を感じられる景観形成
- 人々に期待感を与えるような、周辺とのつながりが感じられる景観形成

【線路上空デザインコンセプト案】

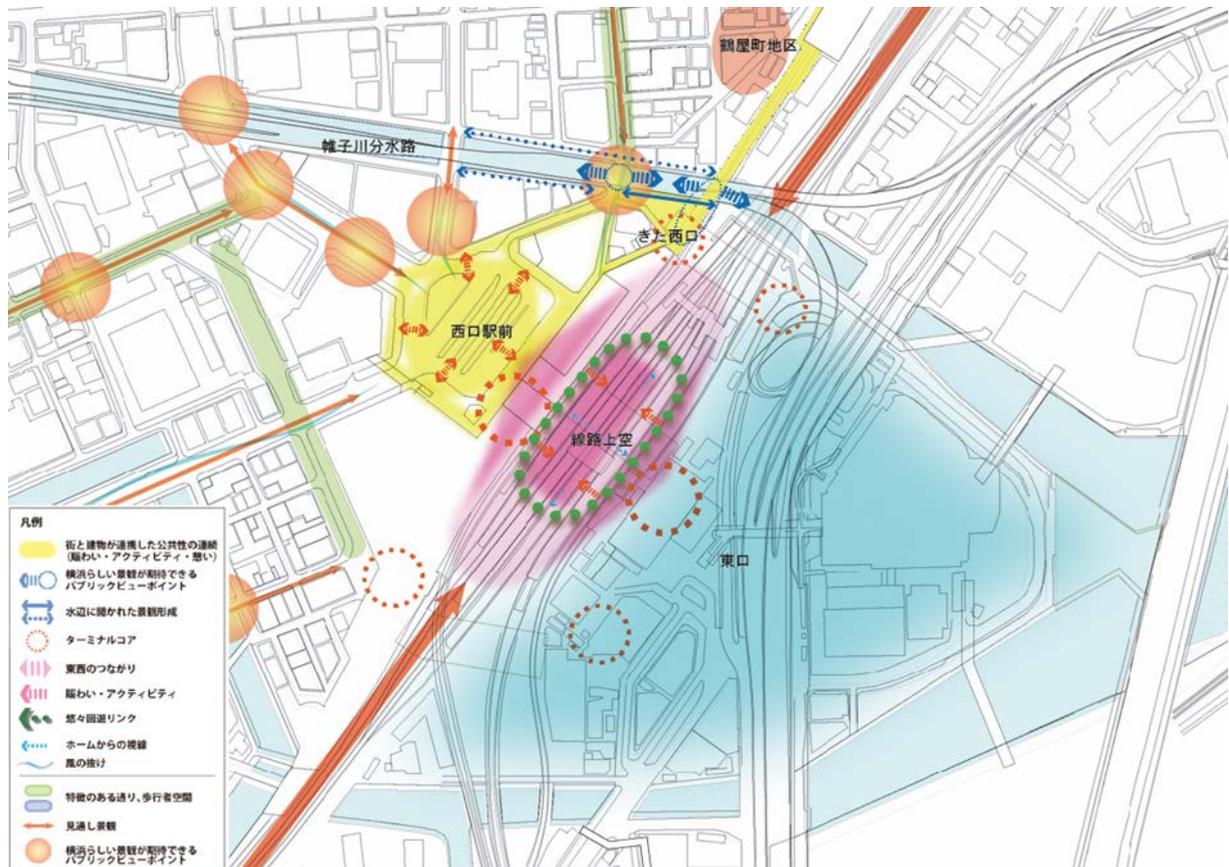
- 水、緑、光、ハマ風など、「みなとまち横浜」の雰囲気を感じられる景観形成
- 横浜の玄関口として公共性、開放性を有した景観形成
- 多様なドラマ性を有した重層的なアクティビティを感じられる景観形成
- 駅×街空間の中心として、東西の街に開かれた回遊性のある景観形成

【きた西口デザインコンセプト】

- 水辺との隣接を活かし、水・緑・光・ハマ風を感じられる潤いある景観形成
- 歩行者とのネットワーク拠点として、わかりやすく開放的な空間形成
- にぎわいや公共性の連続を誘発するような、2つの広場をつなぐ街路空間の形成

【東口デザインコンセプト】

- 常に新しい魅力を発信して、世界・他都市からの多様な人々を惹きつける
- 横浜らしい魅力を発揮する場所として、街に来る人が水を感じ体感できる
- 快適で回遊性の高い歩行者空間として、訪れる誰もが歩いて東口を楽しめる



【西口駅前デザインコンセプト、取組みの例】

○水、緑、光、ハマ風など「みなとまち 横浜」の雰囲気を感じられる景観形成

【取組みの例】

- ・水やハマ風など、海と川に囲まれた「みなとまち 横浜」を感じられる景観の創出
- ・界隈性の高い街の中でも、随所に横浜の持つ文化性、歴史性を感じられる景観形成
- ・歩行者空間や建物の壁面、屋上等における重層的な緑により、広がりある潤いを感じさせる景観の演出

○横浜駅西口の顔として、人にやさしく街の象徴となる景観形成

【取組みの例】

- ・公共と民間が連携し、公共交通機能を確保しつつ歩行者を中心とした憩い、公共性を感じられる景観形成
- ・駅前広場と周囲の建物の一体性、視線の広がりを感じさせる景観形成
- ・地区の拠点として周辺市街地や主要な通りとの連続性、視認性を持った景観形成
- ・高層部の隣棟間隔の確保や壁面の分節等による、駅前広場への圧迫感の軽減や日照の確保に配慮した景観形成

○まちの活力を感じられる景観形成

【取組みの例】

- ・ヒューマンスケールで連続するにぎわいを感じられるファサードデザイン
- ・透過性の高い開口部や人の自由な出入りなど、建物内外をシームレスにつなぐアクティビティの誘発
- ・公共空間と建物が連携し、駅西口のにぎわいや憩いを感じられる街路景観の創出
- ・個々のデザインを尊重しつつ、建物間での緩やかな調和を図ったにぎわいの創出

○人々に期待感を与えるような、周辺とのつながりを感じられる景観形成

【取組みの例】

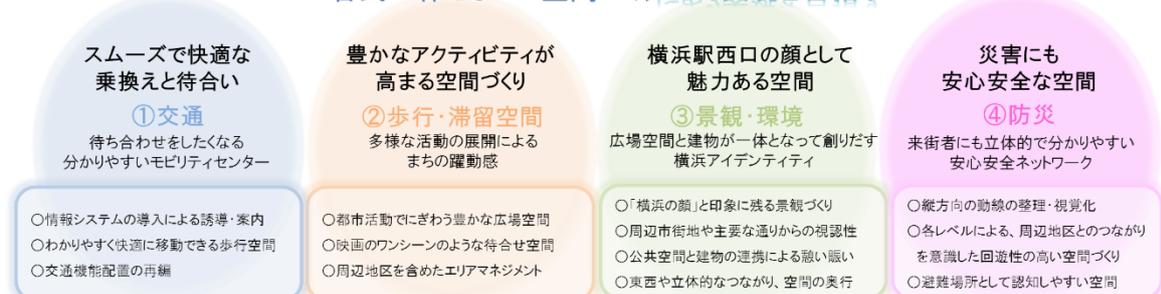
- ・東西のつながり、空間の奥行きや地下からデッキレベルまでの立体的なつながりを感じられる景観形成
- ・多様な視点からの線路上空や海への眺望に配慮
- ・歩行者ネットワークの拠点における建物内のたまり空間等、歩行者空間のつながりを感じさせる景観形成

●西口駅前まちづくり検討会のまとめ

◇西口駅前空間の再編方針 コンセプト (HUMAN ENERGY CORE)

横浜の玄関口として「人に優しい駅前空間」をつくる

官民一体となった空間づくりにより実現を目指す



「人に優しい」とは、快適性と活力が両立できる
「人」を中心とした空間であること

コンセプト

HUMAN
ENERGY
CORE

横浜駅西口駅前には、「人に優しい駅前空間」として、
まちとの「つながり」があり、自分らしい「ゆとり」が持て
皆で「たまり」たくなる、みんなのための「ひろば」
を目指します

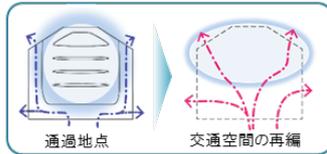
◇「HUMAN ENERGY CORE」を実現するための5つの空間形成方針

①「都市軸」と「ストリート」により地域力が「循環する」

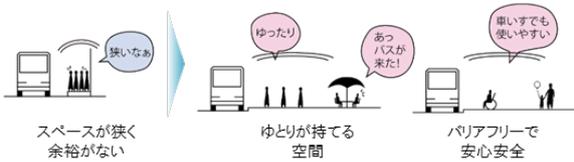
駅前エリア全体の広がり認識を容易にし、回遊性を高めるため、東西の分断を解消する「都市軸」と、西口周辺地域(南幸・北幸・鶴屋)の相互波及を図る「ストリート」を形成する

②快適な交通結節点により豊かさを「高める」

スムーズで快適な乗換えと待合を実現するため、地下街などを含めた官民連携により、駅前広場を再編する

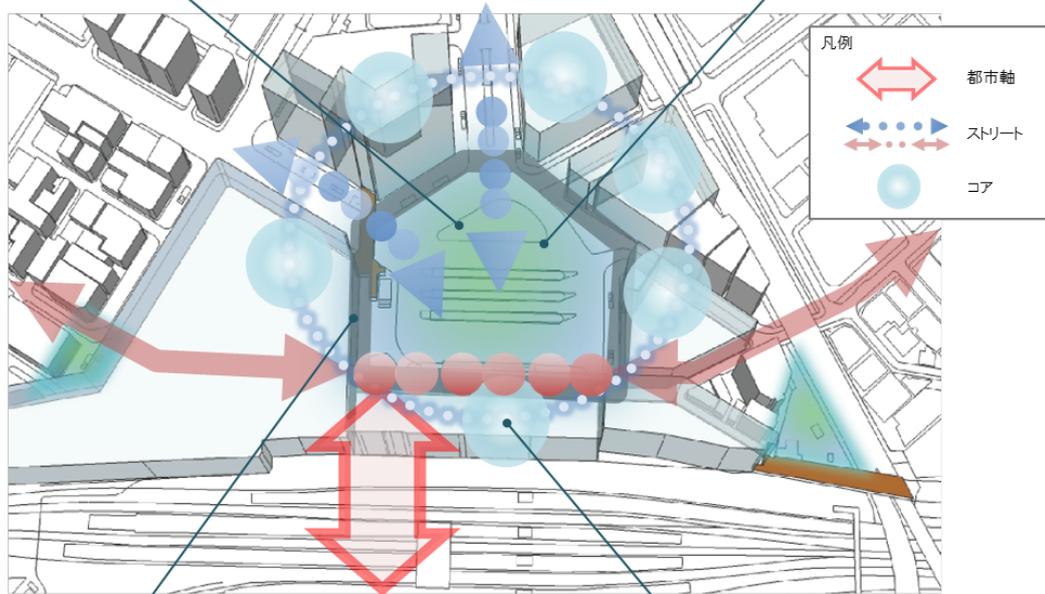
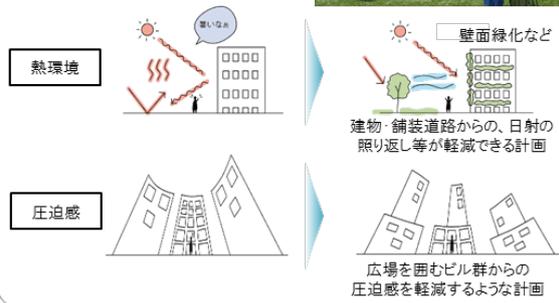


待合 乗換えの時間を楽しみ、ゆとりある待合が可能な広場空間を共同でつくる



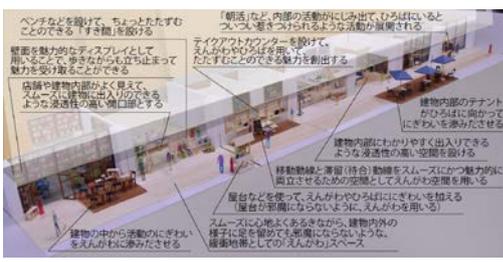
③都市の「ひろば」で活動を「育む」

人々が心地よく集い、時間を費やすことができる、憩いの空間を形成するため駅前広場に快適な空間を官民連携によりつくる



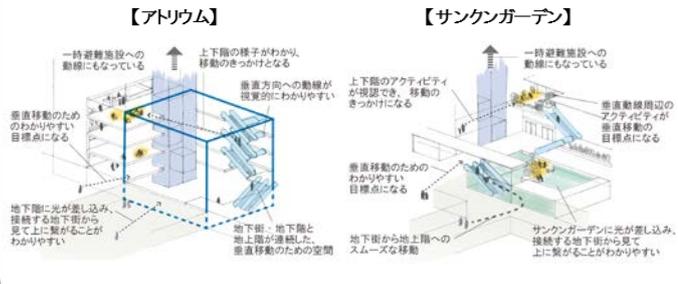
④「都市の縁側」によりまちに「近づく」

道行く人々が建物内のアクティビティを容易に認識でき、自然と足を止めたくなるような「仕掛け」をつくるため、官民境界に都市の「縁側」をつくる



⑤コアにより回遊性を「つなぐ」

来街する人々が建物内外のアクティビティや目的場所を縦方向でわかりやすく視認でき、安心して安全な回遊と滞在の「きっかけ」をつくるためコアをつなぐ



【東口デザインコンセプト、取組みの例】

○国際交流の玄関口として港湾の発展とともに近代化した横浜市の中心である「横浜駅東口」は、常に新しい魅力を発信して、世界・他都市からの多様な人々を惹きつける

【取組みの例】

- ・誰もが心地よく快適に、移動や滞在を楽しむことができる玄関口を形成する
- ・「みなとまち 横浜」を感じられる空間を形成し、ヒューマンスケールでの美しい景観を創出する
- ・発着地点に相応しい賑わいを感じられ、活力を生み出す施設の立地や機能を導入する

○横浜のインナーハーバーをつなぐ「水辺空間」は、横浜らしい魅力を発揮する場所として、街に来る人が水を感じ体感できる

【取組みの例】

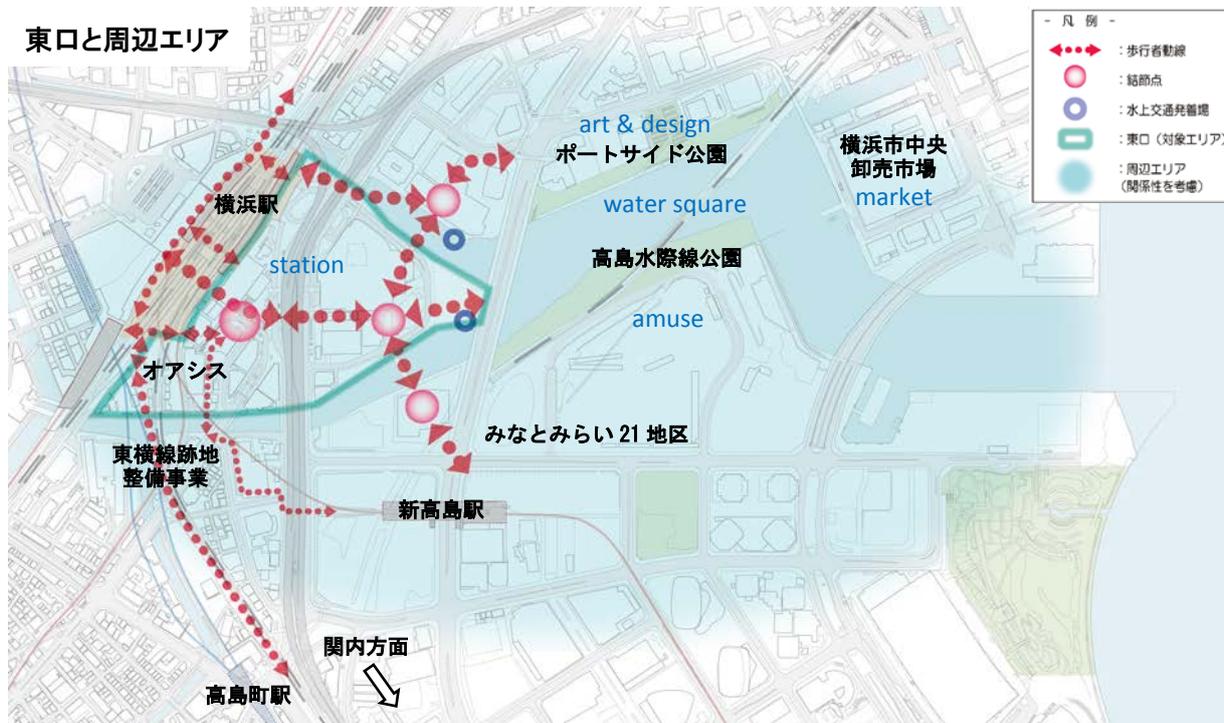
- ・水上交通発着所は賑わいの機能を設けるとともに、インナーハーバー地区内の拠点と複合的な水上交通のネットワークを構築する
- ・みなとみらい21地区、横浜市中央卸売市場などとの連携を考慮しながら、水上や水辺でのアクティビティに必要な機能や仕掛けづくりを行う
- ・水上や対岸からの視点を意識した景観に留意するとともに、水辺との一体感や回遊を創出する設えを工夫する

○みなとみらい21地区など魅力的な周辺地区とつながる「デッキ」は、快適で回遊性の高い歩行者空間として、訪れる誰もが歩いて東口を楽しめる

【取組みの例】

- ・周辺の横浜らしい都市景観を享受できるとともに、ゆとりを持って自由に楽しく回遊できる空間を創出する
- ・デッキでつながる地区の特徴を生かしたデッキ整備を行うとともに、結節点広場の整備や隣接建物との融合などで、多様な使い方を工夫する
- ・賑わいが連続し快適で居心地の良い一体的なデッキ空間を形成するため、各々のデッキや隣接する建物の所有者などで一体的なマネジメント実現に向けて取り組む

東口と周辺エリア



※デザインコンセプトを取りまとめるため関係者で検討した内容については、横浜市のホームページにて掲載しています。ヒントや手がかりが多くあると思いますので、計画を行う際には参考にしてください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/excite/plan/ey22/book/higashi-design.pdf>